

なからぎ

188号

2009年7月

大英図書館蔵『貞観政要』のことなど

文学部長 上田 純一

意外に思われるかもしれないが、ロンドンの大英図書館には日本の古版本が多く保存されている。幕末から明治にかけて日本に滞在し、日本研究にも造詣の深かった英国外交官アーネスト・サトウのコレクションをはじめとして、著名なコレクターによる日本コレクションが多く所蔵されているためである。

そのような事情もあって、私もこれまで何度か同館の古版本調査を行ってきた。コレクション中には、思わず身を乗り出してしまうほどのものも少なくなかったが、ここにご紹介する伏見版『貞観政要』もそのような稀覯本の一冊で、また京都ゆかりのものでもあり、とくに印象に残った次第である。

同書は中国唐代の史家呉兢が記した書物であるが、中国はもとより朝鮮や日本の為政者の間でも、いわゆる帝王学の書として広く読まれてきた。日本では、歴代天皇の必須の教養の一つであり、天皇以外でも、たとえば、源頼朝の妻北条政子などは、同書をわざわざ仮名交じり文に訳させて愛読している。

現在、大英図書館に所蔵されている「伏見版」は、慶長五年（一六〇〇）、徳川家康が禅僧の閑室元信に命じて、京都伏見にあった円光寺という禅寺で刊行させたものである。家康は治国平天下のための一策として、また彼の学問好きの性格も影響して、さまざまな書物の開版事業を行った。そして、同書の熱烈な信奉者であってさかんに同書を奨励した結果、江戸時代には各藩校で同書が教科書として採用されるにいたった。

ちなみに、この「伏見版」については、つぎのような特筆すべき印刷文化史上の意義もある。刊行に際して朝鮮の「木活字」印刷の技術が利用されたのである。日本では、それまで長く木版による印刷が行われていた。ところが秀吉の朝鮮出兵を契機として、木活字による朝鮮の印刷技術が移入されると、伏見版ではこれが大いに利用されることになったようだ。

現在、洛北一乗寺に名跡を継ぐ円光寺には、この木活字が現存しており、近年、重要文化財に指定された。

ところで、原田種成氏の『貞観政要の研究』（吉川弘文館）によると、本書は国内では宮内庁書陵部・旧足利学校遺跡図書館・大東急記念文庫・国学院大学図書館・市立米沢図書館などに所蔵の由であるが、海外研究機関所蔵の例として、さらに大英図書館本を加えなければならないことになる。海外における日本関係資料の調査は近年ようやく緒についたばかりであるが、オンラインによる簡便な検索が可能になる日を心待ちにしているところである。

（うえだ じゅんいち：文学部教授）

私にとっての読書の意味

図書館運営委員 大 島 和 夫

私にとっての読書は生活そのものである。仕事のために本や資料を読まなければならないが、それは「仕事」であって狭義の「読書」ではない。「読書」は内心の自発的な欲求から生み出される。小学生時代はまず雑誌だった。「小学1年生」「ぼくら」「少年画報」などにのっている戦記物や江戸川乱歩などに胸をおどらせた。まもなく「少年マガジン」と「少年サンデー」が創刊され熱心な愛読者となった。小学館や講談社の少年文庫、「シャーロック・ホームズ」「怪盗ルパン」、世界各国の人文地理を紹介する世界時報(?)、ポプラ社の単行本はほとんど読んだ。「若草物語」とか「秘密の花園」などは妹たちと競って読んだ。

中学校のときは、なんといっても岩波から順次発行された井伏鱒二訳の「ドリトル先生」シリーズ、押入で発見した戦争直後に5分冊で出版された「風とともに去りぬ」である。スカーレットとバトラーの運命にははらしながら兄妹3人で読んだ。灘中・高の6年間は毎月1冊、岩波文庫で課題図書が配られ、必ず感想文を書かなければならなかった。この課題図書からは大きな影響を受けた。全

部で72冊にもなる。ジャン・クリストフもあれば、菊池寛の時代小説、芥川や鷗外の作品、純文学からストーリーものまで、とても幅広かった。ちなみに、国語のテキストは中勘助の「銀の匙」であった。ただし、フロバールとかトマス・ハーディといった作者は採用されなかった。トルストイも「アンナ・カレーニナ」ではなく「イワンの馬鹿」であった。そのせいで、私は女性に対する理解が遅れたように思う。性に目覚めてから27歳で今の妻に出会うまで、家族を除けば女性に接する機会はほとんどなかったからである。

中学・高校時代には膨大な本を読んだ。講談社の日本文学全集、筑摩書房の世界文学全集、平凡社の世界大百科事典が主要な3つであった。たいていは寝るときに布団の中で読んだ。それも、ほとんどは中間・期末試験の直前で、徹夜したこともある。試験が終わると不思議なことに読書欲が消失するのが常であった。

大学に入ったのは1968年で、9月からは大学紛争に巻き込まれた。授業がなくなったが、素晴らしい友人や後輩にめぐまれ、彼等と一緒にサークルを作った。「学生民科」という。

その学生サークルの中で一緒にマルクス・エンゲルス、レーニンの著作を次々と読んでいった。その影響はまるで新型インフルエンザのようだった。やがて授業が再開されたが、私の生活スタイルに変化はなかった。

就職してからも、毎晩の睡眠薬ならぬ睡眠本が依然として必要だった。たいていは枕元に 3 冊ほどおいて好きなものから読んでいく。まもなく瞼が重くなり心地よい眠りにつく。もちろん、その前にアルコールという触媒は必要である。ジャンルは、日本の古代史、近畿の古寺・仏像、鉄道と旅行、そして地図である。これに山登り関連が加わる。

本がない生活は考えられない。毎晩、枕元の数冊の本の中からどれを選び読むのか、この選択の楽しいこと、言葉では伝えられない。例えば、日本古代史は推理小説よりも面白い。門脇禎二先生が書かれた著作は迫力に満ちていて、しかも学者の良心を教えられる。先生が三国志の東夷伝に出てくる女王国について、当初は大和説を唱えながら最後には北九州説に到達する過程は、まるで小説を読むような感動がある（「邪馬台国と地域王国」吉川弘文館 2008 年）。また、古田武彦の威勢の良い学界批判も痛快である。「邪馬台国はなかった」（現在は朝日文庫）を読んだときの面白さは忘れられない。

人生の過ごし方は個人の自由であるから、以下は私の独り言である。この年齢になると、およそ 20 年の限られた人生をどう使えば満足を最大化できるかと常に考える。一日の睡眠時間が 6 時間を超えたときなど一日中後悔の念に駆られる。試験の監督などもむなし。ただし通勤時間は、頭の中でその日の仕事を準備し整理するために必要であるので苦にならない。だから頭の上の車内放送のスピーカーの音は困る。

仕事に行き詰まったとき（しょっちゅうある）、一日の仕事が終わったとき、心から満足できる時間の使い方は、仕事とは全く関係がない本、それも個性的な本を広げたときである。「これでもう、あとは寝て良いんだ」と思いつつ、本を読む。なんとという幸せだろう。

世の中には、沢山の時間をゲームで消費する人がいるらしい。本といってもベストセラーを買って読む人がいる。私には理解できない。一度しかない人生を人工のゲームに消費するなんてもったいない。自然や社会の中に、これだけの驚きと感動があるというのに。ベストセラーを読むことも「時間の無駄」であると思う。一度も読んだことはない。ただし、経済的理由から一度は書きたいという願望もある。私にとって好きな本を探して読むことは、人生そのものである。

（おおしま かずお：公共政策学部教授）

（御紹介の「邪馬台国と地域王国」（請求記号 210.3 || K）、「『邪馬台国はなかった』一解読された倭人伝の謎―」朝日新聞社（請求記号 210.3 || F）は、2階閲覧室入口の新着図書コーナーに配架していますので、御利用ください。）

2008年度の利用者サービスをふりかえって

府大の皆さんへのサービス

図書の貸出 **22,288冊**

学部生・院生貸出 20,724冊

初めて年間貸出冊数が2万冊を超えました。学生1人当たり1年間に約10冊借りたこととなります。

府大の皆さんへのサービス

学生希望図書購入 **250冊**

すっかり府大図書館のサービスとして定着した制度です。後援会からの予算を半年で消化してしまうほどの盛況ぶりです。

府大の皆さんへのサービス

雑誌の一時持ち出し **778冊**

貸出できない雑誌も、研究室でのコピーのための一時持ち出しは可能です。電子ジャーナル導入を境に持ち出し冊数は減少しています。

(2004年度：1,663冊)

府大の皆さんへのサービス

館内資料の複写 **1,580件**

コピー枚数 14,866枚

図書館内で図書、雑誌をコピーされた件数・枚数です。

府大の皆さんへのサービス

館内図書の予約 **184件**

2006年度125件、2007年度174件と着実に予約制度が浸透しています。予約図書は専門書からベストセラー図書と多岐にわたっています。

府大の皆さんへのサービス

論文の取寄せ **2,339件**

2004年に料金相殺制度が始まり、右肩上がりだった依頼件数が昨年初めて減少に転じました。(2007年度：2,559件)

電子ジャーナルや機関リポジトリで本文が見られる論文が増加したためと考えられます。

大学図書館では未所蔵のため、国立国会図書館に依頼した件数が昨年度に比べ倍増しました。(89件→176件)

府大の皆さんへのサービス

図書の取寄せ **146冊**

遠方の大学にしかない図書も府大で閲覧することができます。

2006年より他大学等から取寄せた図書を図書館内で複写することが可能になりました。

利用統計を使って、府立大学の皆さんへの図書館サービスの特徴を例年『なからぎ』で報告してきました。今回は、学外の方へのサービス状況も併せて紹介します。

府民の方へのサービス

全国的にもかなり早い時期（1982年）から府民公開を実施しています。

府民の方へのサービス

図書館資料の複写 57件

コピー枚数 936枚

近隣公共図書館にない資料の利用が多いです。

府民の方へのサービス

図書館資料の閲覧415人

京都府に在住・在勤されている方に府大図書館の資料を利用していただいています。（ただし、高校生以下の方は除きます。また、在住・在勤されていても他大学に所属されている方は相互利用になるため、人数には含まれません。）

府大卒業生の方は住所が京都府外でも利用していただけます。

他大学等の方へのサービス

図書館相互協力で府大図書館も他大学の方へ閲覧、依頼図書館まで資料のコピー郵送、図書の貸出等を行っています。

他大学等の方へのサービス

図書の郵送貸出 169件

遠方の大学の方には、郵送でその大学の図書館まで図書を郵送しています。

他大学等の方へのサービス

府大図書館の利用 136人

コピー件数 67件

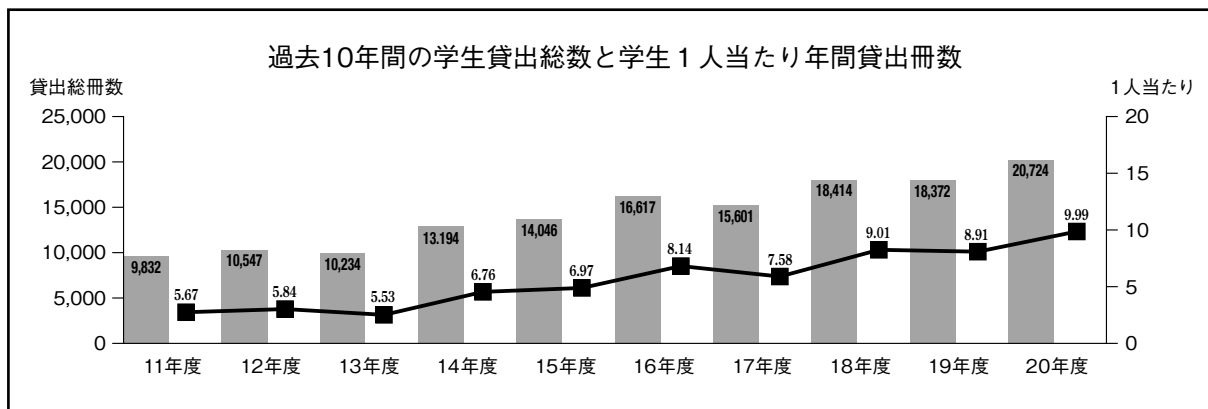
コピー枚数 1,855枚

京都市内の大学以外からも来館されます。

他大学等の方へのサービス

論文のコピーの郵送 1,891件

遠方の大学の方には、図書・雑誌の必要部分をコピーして大学図書館へ郵送しています。



平成21年度 第1回 図書館運営委員会開催報告

平成21年度第1回の附属図書館運営委員会が、去る6月26日に本館第1会議室で開催されました。その概要は次のとおりです。

1 協議事項

(1) 図書館運営委員会ワーキンググループ (WG) の検討課題について

「自己評価・あり方検討WG」、「選書WG」、「電子ジャーナルWG」という3WGの枠組を継続し、必要に応じ適宜開催することとなった。「電子ジャーナルWG」においては電子ジャーナル導入の進め方のルールを整理・確定する必要がある、従来の経緯・現状を踏まえ議論する方向が確認された。また、「自己評価・あり方検討WG」においては新総合資料館との連携について今後「北山文化環境ゾーン整備推進委員会」での検討の進捗状況を見ながら議論することとなった。また、運営委員の交替に伴う各WGのメンバーの変更が確認された。

(2) 平成21年度図書館関係予算等について

本年度の予算配当に基づき、平成21年度の図書館関係予算及び図書購入費執行計画が提案され、承認された。

2 報告事項

(1) 平成20年度決算及び事業報告について

決算・事業報告では、予算配当による新規図書購入や大学特別備品費の配当が厳しい中で図書購入を行ったこと、総貸出冊数について初めて2万冊を超え過去最高となったこと、夜間開館時間の延長により一定の成果が得られたこと、電子ジャーナルについては中期計画実施に係る新規要望に基づき全額共通教育研究費の配当の増額を受け、継続分に加え新規の購読ができたことなどが報告された。

(2) 図書館の視聴覚室、共同研究室などの施設の使用内規等の制定について、報告された。

(3) 平成21年度・年度計画について、20年度の計画を充実・発展させる内容となっていることが報告された。

(4) 障害を有する学生への対応について、当該学生の要望に添う方向で在籍学科と調整した経過が報告された。

(5) 京都外国語大学附属図書館との間で共同利用協定を締結したことが改めて紹介され、一層の利用を促した。

平成21年度図書館運営委員会委員名簿

所属	職名	氏名	所属ワーキング
附属図書館	館長	山崎 福之	
文学部	教授	野口 祐子	電子ジャーナル
	教授	池田 敬子	選書
	教授	榑木 謙周	自己評価・あり方検討
公共政策学部	教授	大島 和夫	自己評価・あり方検討
	教授	津崎 哲雄	選書
生命環境 科学研究科	准教授	佐野 亘	電子ジャーナル
	准教授	沼田 宗典	選書
	教授	宮崎 猛	自己評価・あり方検討
	教授	佐藤 健司	自己評価・あり方検討
	准教授	リントゥルオト 正美	電子ジャーナル
附属図書館	教授	内田 保博	選書
	助教	三好 岩生	電子ジャーナル
附属図書館	事務長	道家 俊之	
	資料主任	久保 直弘	

カレンダー

2009年 7月							2009年 8月							2009年 9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1			1	2	3	4	5
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							30	31	12(水)~31(月)2階閲覧室等休室											
★7/24(金) 通常貸出実施 (貸出冊数6冊以内、返却期限2週間以内)							★7/27(月)~9/18(金) 夏休み貸出実施 (貸出冊数6冊以内、返却期限:10/8(木))							★7/27(月)~9/18(金) 夏休み貸出実施 (貸出冊数6冊以内、返却期限:10/8(水))						
★7/27(月)~9/18(金) 夏休み貸出実施 (貸出冊数6冊以内、返却期限:10/8(木))							★8/12(水)~31(月) 2階閲覧室(書庫を含む) は、蔵書点検のため休室。 この間、図書の返却は、図書館西側通用口横 の[返却ポスト]をご利用下さい。							★9/21(月)休館 敬老の日 ★9/22(火)休館 国民の休日 ★9/23(水)休館 秋分の日 ★9/24(木)~ 通常貸出実施 (貸出冊数6冊以内、返却期限2週間以内)						
★7/20(月)休館 海の日 ★7/25(土):26(日)オープンキャンパスのため 10:00~16:00 2階閲覧室のみ開室 (ただし、通常業務は行いません)																				
開 館 時 間 等																				
~8/7(金) 通常開館														9:00 ~ 21:00						
8/10(月)~11(火)、9/1(火)~30(水)夏季休業中														9:00 ~ 16:45						
休 館 日							土・日・祝 蔵書点検期間(8/12(水)~31(月))													